

日本語

**DDL-7000A-7
ロングピッチキット
取扱説明書**

1. 概要

ロングピッチキットとは最大縫い目長さを 7mm(通常 5mm) に変更できるオプション部品キットです。

対象機種：DDL-7000AH-7(厚物仕様)

2. ロングピッチキット部品一覧

ロングピッチキット品番：40234068(4 枚歯)

品名	品番
送り調節ダイヤル	22971402
針板	23645807

※送り歯の変更は不要です。

注) 上記のロングピッチキット品番は 4 枚歯になります。

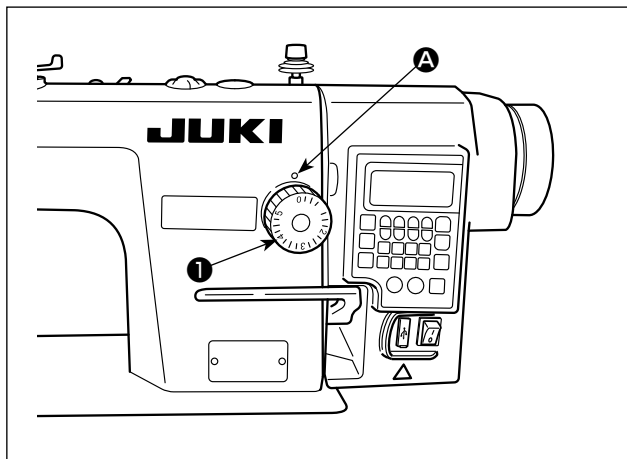
3 枚歯を使用したい場合は下記の部品を準備してください。

品名	品番
送り調節ダイヤル	22971402
針板	11062007
送り歯	11062601

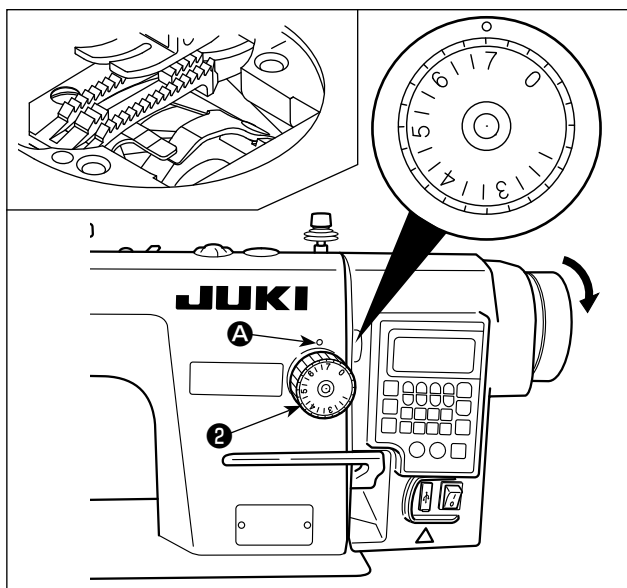
3. 必要工具

- ・各種マイナスドライバー
- ・板厚 1mm のスペーサー
- ・スパナ 10mm

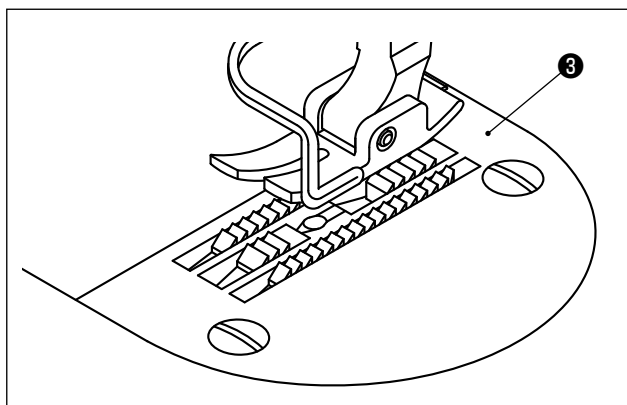
4. 組付け手順



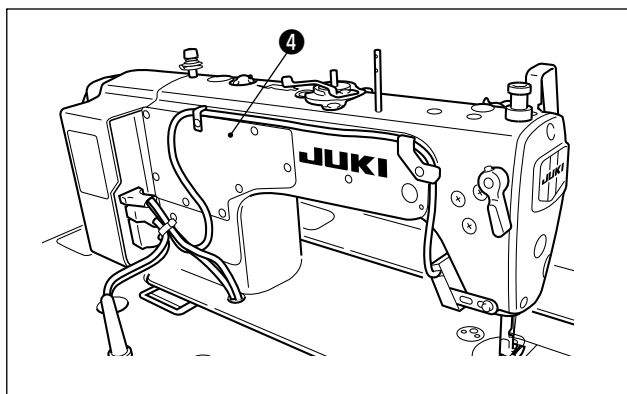
- 1) ロングピッチ用の送り調節ダイヤルに交換します。
現状取り付けられている送り調節ダイヤル①を右に回し、目盛り「0」をアーム刻点 A に合わせてから止めねじを外し、ロングピッチ用の送り調節ダイヤル (22971402) ②の目盛り「0」とアームの刻印の位置が合致するよう取り付けてください。



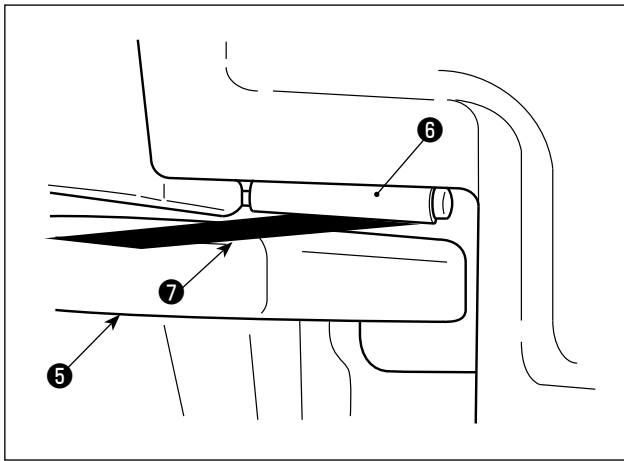
- 2) 現状取り付けられている針板を取り外してから、送り調節ダイヤル②の目盛り「7」を刻点 A に合わせてください。
はずみ車を手で矢印方向に回し、送り歯がベッドやメスに干渉していないことを確認してください。



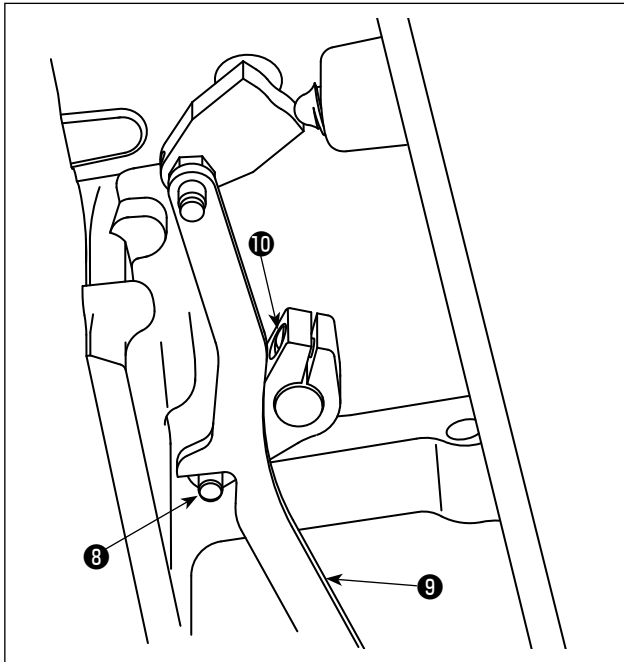
- 3) ロングピッチ用の針板③ (23645807) を取り付けてください。
針板の溝と送り歯にすき間があって擦れていないことを確認してください。



- 4) 窓板④を取り外してください。



5) 送り調節ダイヤル②の目盛りを「7」に合わせ、逆送りレバー⑤と逆送りレバーストッパー⑥の間に板厚 1mm スペース⑦を挟んでください。

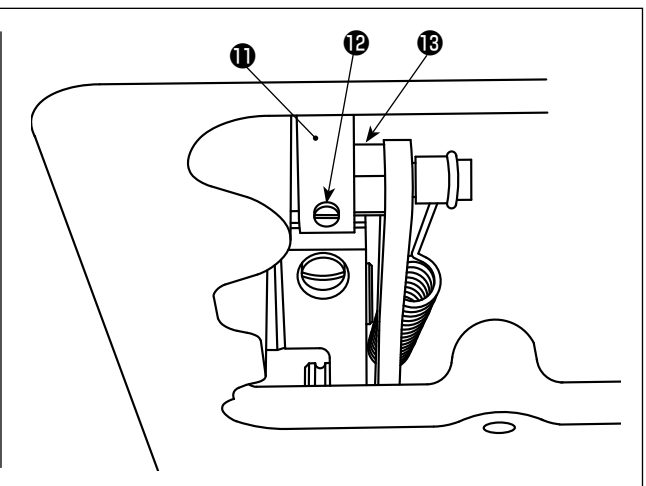
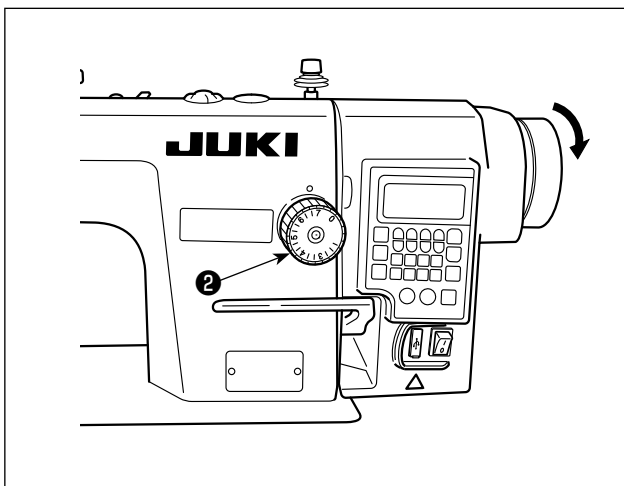


6) 送りレバー腕(組)の止めねじ⑩をゆるめてください。

7) 1mm スペース⑦がずり落ちないように逆送りレバー⑤を押し上げながら、送りレバー腕ピン⑧と送り調節ロッド⑨が軽く接触した位置で送りレバー腕(組)の止めねじ⑩を締めてください。

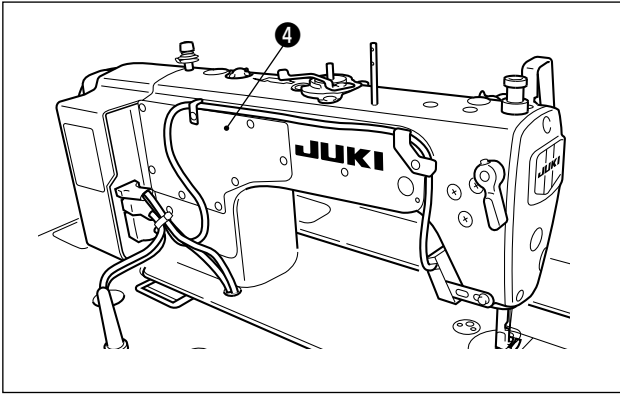
8) 送り調節ダイヤル②の目盛りを「7」に合わせた時、逆送りレバー⑤の運動方向に軽くガタ(遊び)があることを確認してください。

(注意) このガタが無いと運転時に異常音の発生や破損する恐れがあります。



9) はずみ車を手で矢印方向に回し実際の縫い目長さを確認してください。

実際の縫い目長さを送り調節ダイヤル②で設定した目盛りにズレがありましたら、送り調節台⑪の止めねじ⑫をゆるめてスパナで送り調節ピン⑬を調節してください。



10) 窓板④を取り付けてください。

- (注意) 1. 送り調節ダイヤル②の目盛り「5」を超える縫製ピッチでご使用の場合は、最高縫い速度は3500sti/min以下でご使用願います。
2. 送り調節ダイヤル②の目盛り「5」を超える縫製ピッチで自動返し縫いを行うと、正送り縫い目と逆送り縫い目が一致しませんのでご注意願います。